



8人乗りのゴムボートで激流を下るラフティング。吉野川は格好のスポット



奥祖谷二重かずら橋。平家一族が平家の馬場に通うために架けたと伝えられる



急斜面に広がる民家の落合集落。国の重要伝統的建造物群保存地区となっている



手づくりのかかしが並ぶ「かかしの里」



琵琶の滝。かずら橋の近くにあり、平家の落人たちが琵琶を奏でなくさめあったといわれる

1 巻頭エッセー ● 「世界の環境首都」を目指して 北橋健治（北九州市長）

特集 ICTを活用した商店街の活性化

- 4 新局面を迎えた商店街の活性化 石原武政（関西学院大学商学部教授）
- 8 青森県青森市 地元情報を発信・共有するシステム 葛西 純
- 10 宮城県仙台市 商店街情報をポータルサイトで提供 伊藤 亨
- 12 東京都品川区 低迷打開へポイントサービス強化 横尾正美
- 14 東京都町田市 独自の地域貢献型ポイントカード 太田 忠・滝吉佳子
- 16 長野県駒ヶ根市・飯島町・中川村 域内の公共汎用カードとして発展 矢澤哲也
- 18 滋賀県長浜市 地域を結ぶ公的ネットワークにビジネスをプラスする住基カード 富田浩徳
- 20 京都府京都市 新規事業を視野に常に積極議論 樋爪 保
- 22 愛媛県松山市 ネット上に商店街「出店」の挑戦 島本展光
- 24 長崎県長崎市 中国人客には「銀聯」決済も可能に 高橋孝次
- 26 鹿児島県霧島市 「縄文きずなカード」に望みつなぐ 赤塚恒久
- 28 消費者の購買・決済行動の変化に対応するため発想の転換を 高村 茂（株式会社日本総合研究所 上席主任研究員）
- 32 地域の活性化に向けた商業施策について 鈴木隼人（中小企業庁 経営支援部商業課 課長補佐）

レギュラーレポート

- 35 ～北から南から～ 栃木県栃木市 「ふれあい相談員」が地域で活躍 荒川恒昭
- 36 地域再生実践塾 平成22年度第1回 協働のまちづくりの在り方議論 北海道札幌市
- 38 公共スポーツ施設等活性化助成事業 全国規模のホッケー大会を多数開催 山形県川西町
- 団体探訪
- 40 WZF若武者絶対増やす実行委員会 四万十川の環境保全への取り組み 高知県四万十町
- 42 NPO法人小野川と佐原の町並みを考える会 まちを守り、次代に受け継ぐ責任 千葉県香取市
- 44 移住・交流事業 官民協働で「ふくし留学」実現へ 島根県吉賀町
- 46 首長の思い「世界を繋ぐ交流拠点都市」を目指して 河瀬一治（敦賀市長）
- 48 センター通信

グラビア

2 ICTを活用した商店街の活性化  
47 手前みそですが…●茨城県行方市



円陣を作って姿やさしく舞い踊る

●文Ⅱ原田 ●カメラマンⅡ小形又男

徳島県三好市祖谷は「日本三大秘境」の一つに数えられる。四国山地の最高峰・剣山周辺を源流とする祖谷川（吉野川上流）の渓谷に沿って続く地域だ。古来、平家落人伝説に彩られた地として知られる。

この一帯の西祖谷山村で八月五日、地元で長く伝わる民族芸能「神代踊り」が行われた。毎年旧暦の六月二十五日に催される雨乞いの行事である。言い伝えでは、菅原道真が讃岐の守在任中に、大干ばつで困窮していた農民のため雨乞いの祈願として始まったのが、起源という。

数十人の住民が善徳天満宮に集合。天狗の面や露払い役の面を被った男性らに続き、踊り手の女性や子どもたちが太鼓やほら貝の音、男衆のはやし唄に合わせて舞い踊る。県内では、阿波踊りとともに、国の重要無形民俗文化財に指定されている。

小学校が統廃合されるなど過疎化が進む地域だが、地元観光協会は、大歩危・祖谷地域を「秘境の地」としてPR。峡谷の絶景や歴史のロマン、住民らのおもてなしが訪れる人を魅了する。JR大歩危駅には外国人旅行者の姿も見られた。

表紙Ⅱ西祖谷の「神代踊り」

（徳島県三好市）